

議会報告会会議録

1 開会日	平成28年11月13日(日) 午後 3時00分 開会 午後 4時30分 閉会
2 場 所	保健センター 2階 研修室
3 出席議員	吉川重雄議長 (開会あいさつ) 坂田よう子副議長 (閉会あいさつ) 高橋英俊議員 (司会進行) 関 威國議員 (平成27年度決算のおもな審査内容について・ 観光振興対策事業) 奥津勝子議員 () 清田文雄議員 () 玉虫志保実議員 () 全議員 (少人数に分かれての意見交換) 渡辺順子議員 (記 録) 柴崎 茂議員 () 三澤龍夫議員 (会場受付) 鈴木京子議員 () 片野哲生議員 (マイク設置等) 二宮加寿子議員 (写真撮影) 竹内恵美子議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	14人
5 報告事項	(1) 平成27年度決算のおもな審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換
6 その他	手話通訳者 2人

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 12 回目を迎えた。今回は平成 27 年度決算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に代わって答弁するものではない点を御了解いただきたい。町に対する御意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいた御意見、御要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 27 年度決算のおもな審査内容報告

・・・関 威國議員、奥津勝子議員、清田文雄議員、玉虫志保実議員

『議会だよりおおいそ』第 184 号及び議会報告会資料に基づき、平成 27 年度決算に対する決算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。昨年に試行実施した事務事業評価を今年も実施。観光振興対策事業についての評価結果を報告。

◎主な質疑

問： 議会報告会の決算報告もわかりやすくなったが、町行政の執行を説明しているにとどまっているようだ。議会として問題点を指摘するなど、2 元代表制の議会の役割をはたしてほしい。

答： 行政執行の報告をしているだけのようであるとの御意見だが、様々な議論もあったが報告できていなかった。今後の改善点として受け止める。

問： 町債残高が前年度より増えているのに、トイレの建設に 700 万円とか、1,200 万円とかけているが、高すぎないか。

答： トイレは観光を進める町政策で重要な位置を占めている。東海大学の学生に依頼しての設計である。

問： 町も LED 化がかなり進んでいるようだが、現在の状況はどのようか。環境に配慮された電気を選ぶ、目先の安さだけではなく、長期的に見たときに、将来の世代につけを回さないような、そういう選択を町として進めてほしい。

答： LED 化や P P S 事業者の参入もあり、平成 20 年頃と比べると、電気代は 5 千万円くらいの削減が図られている。

問： 大磯港みなとオアシスで、建物をもし何か新しく建てるということであれ

ば、エネルギーを使わない建物にするといった視点も入れてほしい。

答： 貴重な意見感謝する。

(3) 少人数に分かれての意見交換

少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが4グループに分かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ1

(町民3名・議員3名(竹内恵美子議員・清田文雄議員・玉虫志保実議員))

- ・ 観光振興対策事業の議会による事務事業評価の結果が「抜本的な見直しのうえ継続」となっている。観光事業に携っているものとしては納得のできない評価だ。費用対効果が小さい、観光を定住に結びつけることは無理がある、という判断にいたる根拠はどのようなか。
- ・ 大磯港みなとオアシスの関係で、大磯港駐車場拡幅の質疑があったが、これからは車に頼らない方がよいと思う。エコとかクリーンとか環境的なことを考えると、港に車はふさわしくない。電車で来てもらって港へ送迎、別の広いところに車を置いて来るなどの感覚の方がよいと考える。
- ・ 議会の会議録がホームページに出るのが遅すぎる。9月定例会の会議録が11月になってもまだ出てこない。早くしてほしい。
- ・ 身体障害者福祉協会の会長をしている。聴覚に障がいがあるため会議等で手話通訳者が必要となる。町は、会への補助金で手話通訳の費用を賄えと言うが、補助金は会の事業費に充てている。障害者差別解消法も施行された。二宮町のように、町が手話通訳の費用を負担してほしい。

グループ2

(町民3名・議員3名(関 威國議員・渡辺順子議員・柴崎 茂議員))

- ・ 任意団体(約10人)で、松並木敷の木の枝の剪定や草刈り等の清掃活動を行っている。清掃の都度、町担当課職員に清掃用具を届けてもらっている状況のため、防災備蓄倉庫横に清掃用具入れの物置を要望したが、町から断られてしまった。物置を設置することはできないのか。
- ・ 松並木敷は多くの観光客が訪れる美しい場所だ。草花の植え付け等禁止されているが、観光の要所として町に管理整備の基準を作ってもらいたい。
- ・ 湘南・西湘地域のエネルギー関連企業4社は「小田原箱根エネルギーコンソーシアム」を設立し、小田原市と箱根町の一般家庭を対象に地域で発電された再生可能エネルギーを供給するエネルギーの地産地消をはじめた。大磯町でも再生エネルギーの地産地消を積極的に進めてほしい。

- ・ 大磯町にはエネルギー条例がある。条例は基本的な事項を述べる理念条例となっているが、仕組みづくりなど実行に移してほしい。

グループ 3

(町民 3 名・議員 3 名(二宮加寿子議員・片野哲生議員・高橋英俊議員))

- ・ 城山公園近くの直売所で農家からイノシシ被害の話聞き気の毒と感じた。町は、イノシシ被害に対する対策をとっているのか。
- ・ 議会報告会に若い人たちが来ていないのが残念だ。開催方法に工夫が必要ではないか。例えば、テーマを決め、議会報告会の案内に記載してみたらどうか。
- ・ 議会報告会の資料を前もってもらえないのか。

グループ 4

(町民 4 名・議員 3 名(三澤龍夫議員・奥津勝子議員・鈴木京子議員))

- ・ もみじ山に住んでいる。下水道の測量が来た。道路が古いので、工事の前に道路を直してほしいと近所で話をしている。
- ・ 防災行政無線が聞こえないことがあり困っている。メール配信を行っているようだが、電話でも内容を確認することはできないのか。
- ・ 文化祭などでいろいろな所に行くのは大変。今年は福祉センターが使えなかった。立派なものでもなくてもよいので、1箇所で開催できるようにしてもらいたい。
- ・ イノシシが出て困っている。
- ・ マンションに住んでいる。隣接して町の緑地があるが、松が5本枯れた。伐採は来春と言われ、マンションで枯れた松の伐採を行った。枯れ始めたらすぐに伐採をしてほしい。また、消毒させてほしい。安全な方法で。
- ・ 74才までを対象に体操事業を13年行っているが、週2回が月4回になってしまった。効果の出る事業で、エアロバイクの寄附を申し込んでも断られた。町主催の事業を引き継いだものであり、場所を確保してほしい。
- ・ 広報で周知している運動講座は、インストラクターが入札で変わった。内容に一貫性がないので改善してほしい。また、75歳以上も参加できるようにしてほしい。

(4) 閉 会
